噴火警報とは？

●噴火による災害について、予想される影響の範囲を付した名称で警戒を呼びかけます。

居住地域※を対象
　噴火警報（居住地域）（略称「噴火警報」）

火口から居住地域まで※
火口周辺※
} を対象
　噴火警報（火口周辺）（略称「火口周辺警報」）

※具体的な対象地域は地域防災計画等に定められます。

●静穏（平常）な状況は噴火予報で発表します。

●警報が発表されることによって、住民の皆さんへの伝達が迅速かつ確実となります。また、災害が発生する前に適切な防災対応をとることができます。

火山性地震の発生回数など火山の状況を解説する場合は、新たに設ける「火山の状況に関する解説情報」を用いて発表します。なお、これまでの火山情報（緊急火山情報、臨時火山情報、火山観測情報）は廃止します。

噴火警報の伝達

報道機関、都道府県、市町村等を通じて住民の皆さんにお知らせします。

噴火予報及び警報で発表する噴火警戒レベル

●危険な範囲や防災対応に応じて5段階に区分し、とるべき防災行動をキーワードで発表します。

●とるべき防災行動が明確になることで、迅速かつ的確な対応が可能となります。

●噴火警戒レベル4及びレベル5の対象となる居住地域※については……**噴火警報**

●噴火警戒レベル2の対象となる火口から少し離れた所までの火口周辺※、及びレベル3の対象となる居住地域の近くまで※の火口周辺……**火口周辺警報**

※具体的な対象地域は地域防災計画等に定められます。

予報警報の略称	対象範囲	レベルとキーワード	説明：火山活動の状況	説明：住民等の行動	説明：登山者・入山者への対応
噴火警報	居住地域	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法等を判断）。	
		レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
	火口周辺	レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
噴火予報	火口内等	レベル1 平常	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。		特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。